講 演　大 阪　イベント・レポ

投稿：2015年9月4日
by 建築相談委員会

市民シンポジウム　住まいをどう守る。市民の努力と建築家の役割(CPD単位：2.0単位)

ポスト　シェアする 0　　レポートを見る

市民は純粋に｛良い住まいを求めて｝豪華なパンフレットやモデルハウスなどを頼りに大きな期待と不安の中で重大な決意をして生涯の大きな買い物をしています。その陰で、漏水・構造強度の不足・建築基準法違反などの欠陥などで人生を狂わすような苦しみに遭遇する人が後を絶ちません。
良い住まいを求めるための進め方はどうあるべきなのか。市民が被っている住まいの被害とはどんなものなのか。被害を回復するための市民の苦しみや解決の難しさの実情はどうか。住まいの被害は最大の消費者問題とも言えるが消費生活相談のあり方は。
当日本建築家協会近畿支部では、建築相談室を設けて長年にわたって市民の住まいの問題の相談に応じてきましたが、（これから住まいを作る市民のため知識）ばかりでなく（被害を受けてからの苦しみの叫びと解決に向けた進め方）などの相談件数が多いのが実情です。
＜市民はどう努力し、建築家など専門家はどのように支援すべきか。＞
欠陥住宅被害者と市民・建築家・弁護士らが共に考えるための集いを企画しました。より多くの市民・住まいの被害者・消費生活相談員・建築家などの参加を募ります。

イベント名称	**市民シンポジウム　住まいをどう守る。市民の努力と建築家の役割**
開催日時	平成２７年１０月２４日（土）　午後１時００分～４時４５分
参加対象	一般、JIA会員
定員	８０名程度（申込み先着順で閉め切らせていただきます。）
参加費	資料代：１０００円（当日の受付にてお渡し下さい。）
申込書	申込書
会場	大阪市立総合生涯学習センター（第１研修室）
住所	大阪市北区梅田1-2-2-500　大阪駅前第２ビル５階
地図の表示	
主催・共催等	日本建築家協会近畿支部（建築相談委員会）
CPD単位	2.0単位
お問い合わせ先	JIA近畿支部　TEL06-6229-3371　e-mail jia@bc.wakwak.com

【レポート】

関 連 記 事

市民シンポジウム「欠陥住宅被害と建築家の役割」

« ひとつ前に戻る　前へ　次へ

近日開催のイベント・コンペ

進行中プロジェクトを語る建築トークイベント「A chat」

カテゴリー;
お知らせ
イベント告知・レポート
アーカイブ;
年月を選択
最新のお知らせ;
2026年6月2日
JIA 大阪地域会 連続企画イベント Vo.16「Architects Study 04(Balkrishna Doshi)」
2026年5月22日
JIA 大阪地域会 連続企画イベント Vo.15「庭師と共に農園を歩く」
2026年4月2日
JIA大阪地域会通常総会記念講演会「竹原義二_建築する」
2026年1月17日
JIA大阪地域会連続企画イベント Vol.13「Architects Study 03(谷口吉生)」
2025年11月26日
JIA大阪地域会連続企画イベント Vol.11「アトリエ事務所ってどんなとこ？」
検索
HOME　ページ上部へ戻る

© 2011-2026 JIA Kinki.